



五所川原

市議会だより

第29号

平成30年
5月

平成30年第1回定例会～旧議場での最後の議会



5月1日 朝市開幕～立佞武多の館駐車場

主な
内容

第1回定例会の概要 …… 2～5
 代表質問・一般質問 …… 6～8
 予算特別委員会 …… 9
 討 論 …… 10

議会改革について …… 11
 行政視察来庁 …… 11
 議決結果表 …… 11～12
 行政視察報告 …… 13

次回定例会の予定 …… 14
 新議場について …… 14
 編集後記 …… 14

紙面 リニューアルの お知らせ

「五所川原市議会だより」は、平成23年の創刊以来、縦組みで紙面を構成してきたところですが、「広報ごしょがわら」が平成29年度より横組みにリニューアルされたことに合わせて、今号より横組みに変更することといたしました。

今後とも、市民の方に読みやすい紙面づくりに努めてまいりますのでご理解くださるようお願いいたします。

平成30年第1回定例会の概要

第1回定例会が、2月27日から3月15日までの17日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成30年度一般会計予算など、市長から提出された議案65件を原案のとおり承認、可決、同意し、議員発議1件についても原案のとおり可決しました。

また、閉会中継続審査となっていた請願1件については、不採択としました。

専決処分の承認

- 平成29年度一般会計補正予算（第6号）【補正額 1億円】

除排雪費用を増額するものです。



補正予算

- 平成29年度一般会計補正予算（第7号）【補正額 1,518万1千円】

寄附金（ふるさと納税金など）及び不動産売払収入を基金に積み立てるほか、国・県補助金の精算による返納金などによるものです。

- 平成29年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）【補正額 2,647万4千円】

つがる総合病院及びかなぎ病院の医療検査機器等の整備に伴い、つがる西北五広域連合に対する負担金を追加するほか、医科及び歯科診療施設勘定特別会計繰出金を増額するものです。

- 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）【補正額 1,700万円】

被保険者数の増加に伴い、青森県後期高齢者医療広域連合負担金を増額するものです。

- 平成29年度介護保険特別会計補正予算（第3号）【補正額 534万2千円】

認知症高齢者や老人ホーム利用者の安全確保のための施設整備に対する補助金を増額するものです。

- 平成29年度下水道事業会計補正予算（第3号）【補正額 収益的支出 305万2千円】

現在、下水道事業で行っている堰機能維持管理事業の業務を一般会計へ移管するための費用を追加するものです。

当初予算

平成30年度一般会計予算額は、対前年度比8.7%（29億8,900万円）減の314億9,300万円となっています。

平成30年度予算は、「総合計画の3つの重点戦略（若者の定住促進戦略、交流倍增戦略、元気・健康づくり戦略）の推進」、「地域における課題認識の共有による協働・連携事業の推進」、「歳出改革・歳入改革の推進」の基本方針に基づいて編成されています。



| 会 計 名 | | H30予算額 | H29予算額 | 増減額 | 前年度比 | |
|------------------|----------------|------------|------------|-------------|----------|-------|
| 一 般 会 計 | | 31,493,000 | 34,482,000 | △ 2,989,000 | △ 8.7 | |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険事業勘定 | 6,597,851 | 9,028,513 | △ 2,430,662 | △ 26.9 | |
| | 国民健康保険医科診療施設勘定 | 173,640 | 180,385 | △ 6,745 | △ 3.7 | |
| | 国民健康保険歯科診療施設勘定 | 37,436 | 37,904 | △ 468 | △ 1.2 | |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | 601,247 | 592,813 | 8,434 | 1.4 | |
| | 介 護 保 険 | 6,221,212 | 6,202,754 | 18,458 | 0.3 | |
| | 高 等 看 護 学 院 | 87,933 | 96,124 | △ 8,191 | △ 8.5 | |
| | 神 山 財 産 区 | 112 | 222 | △ 110 | △ 49.5 | |
| | 松 野 木 財 産 区 | 112 | 101 | 11 | 10.9 | |
| | 戸 沢 財 産 区 | 95 | 95 | 0 | 0.0 | |
| | 嘉 瀬 財 産 区 | 321 | 321 | 0 | 0.0 | |
| | 喜 良 市 財 産 区 | 142 | 142 | 0 | 0.0 | |
| | 相 内 財 産 区 | 1,718 | 1,951 | △ 233 | △ 11.9 | |
| | 脇 元 財 産 区 | 1,003 | 1,039 | △ 36 | △ 3.5 | |
| | 十 三 財 産 区 | 603 | 3,519 | △ 2,916 | △ 82.9 | |
| 企 業 会 計 | 水 道 事 業 | 収益の収入 | 1,482,904 | 1,531,080 | △ 48,176 | △ 3.1 |
| | | 支出 | 1,340,469 | 1,346,869 | △ 6,400 | △ 0.5 |
| | | 資本的収入 | 382,101 | 403,351 | △ 21,250 | △ 5.3 |
| | | 支出 | 992,266 | 947,290 | 44,976 | 4.7 |
| | 工 業 用 水 道 事 業 | 収益の収入 | 113,628 | 113,748 | △ 120 | △ 0.1 |
| | | 支出 | 106,325 | 113,501 | △ 7,176 | △ 6.3 |
| | | 資本的収入 | 22,761 | 19,166 | 3,595 | 18.8 |
| | | 支出 | 27,629 | 25,902 | 1,727 | 6.7 |
| | 下 水 道 事 業 | 収益の収入 | 888,897 | 912,125 | △ 23,228 | △ 2.5 |
| | | 支出 | 1,042,573 | 1,070,292 | △ 27,719 | △ 2.6 |
| | | 資本的収入 | 1,071,956 | 967,273 | 104,683 | 10.8 |
| | | 支出 | 1,197,843 | 1,083,399 | 114,444 | 10.6 |

条 例

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正により特別職の範囲が厳格化されたことに伴い、非常勤特別職のうち労働者性が高いと認められる生活保護面接相談員、ファミリーサポートセンターアドバイザー、手話通訳者及び精神保健福祉相談員を一般職として任用する規定を整備するものです。

○特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部改正

農業災害補償法の一部を改正する法律の施行に伴い、法律名及び条文の引用条項を改めるとともに、住宅又は家財の損害の程度による市民税の減免の要件を改めるものです。

○承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、新たに承認地域経済牽引事業のために設置される施設等（家屋、構築物、土地）に対する固定資産税の課税特例を定めるものです。

○市営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正

土地改良法の一部改正に伴い、条文の引用条項などを改めるものです。

○体育施設設置条例の一部改正

平成30年3月をもって幾世森にある市民プールを廃止するものです。

○指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

平成30年度より指定居宅介護支援事業者（要介護者が、介護サービス等を適切に利用できるようにケアプランを作成したり、ケアプランに基づく介護サービス等の提供が確保されるよう、介護サービス事業者等への紹介、連絡その他の調整を行う事業者）の指定権限が県から市町村へ移譲されることから、介護保険法の規定に基づき基準となる条例を新規制定するものです。

○国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険制度の改正により、平成30年度から国民健康保険の運営主体が都道府県になることに伴い、青森県内の国保運営方針を統一するほか、葬祭費を3万円から5万円に引き上げるものです。

○乳幼児医療費給付条例の一部改正

子育て支援の充実及び育児環境の向上を図るため、平成30年度から給付要件である保護者の所得制限を撤廃するものです。

○後期高齢者医療に関する条例の一部改正

高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い、住所地に係る特例を受けて当市の国民健康保険の被保険者であった方が、当該特例を引き継いで後期高齢者医療広域連合の被保険者となる場合、その方を当市が保険料を徴収すべき被保険者に加えるものです。

○公害防止条例の一部改正

大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行に伴い、条文の引用条項などを改めるものです。

○保健センター設置条例の一部改正

平成30年3月をもって保健センター金木を廃止するものです。

○介護保険条例の一部改正

平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料の基準月額を現行の6,200円から400円（6.45%）引き上げ、6,600円に改めるものです。

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準、子ども・子育て支援法施行規則及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、特定教育・保育施設（認定こども園・幼稚園・保育所など）における支給認定証の取り扱いを改めるものです。

○都市公園設置条例の一部改正

都市公園法施行令の改正に伴い、都市公園内に設置される施設の建ぺい率を定めるものです。



その他

○財産の処分

処分する財産 土地
 所在地 大字金山字竹崎171番1
 地目 宅地
 地籍 6,565.43㎡
 契約価格 2,626万1,720円
 契約の相手方 五所川原市中央六丁目1番地
 有限会社 津軽車輛サービス
 取締役 伊藤 光昭

○市道路線の認定

道路の寄附採納により、唐笠柳12号線及び唐笠柳13号線の2路線、110.9mを市道路線として認定するものです。

○西北五環境整備事務組合理約の変更

市庁舎の移転に伴い、西北五環境整備事務組合事務所の位置を移転後の市役所の住所に改めるものです。

請願

○子どもの医療費助成の拡充に関する請願

子どもの医療費助成を中学卒業まで拡充し、所得制限を撤廃することを求める内容ですが、委員会審査の過程で、県内他市町村の状況を勘案すると当市においても検討していく必要があるが、恒久的な財源を確保することが困難な状況等を踏まえ、所得制限の有無を含めて検討が必要であるとの意見があり、**不採択**となりました。

議員発議

○市議会会議規則の一部改正

新庁舎移転後、会議及び委員会の表決及び投票方法に電子表決システムによる方法を導入するほか、委員会の表決の方法に挙手の方法を加えるものです。

| 第2回定例会 一般会計予算 | | |
|---------------|----|------|
| 賛成 | 反対 | 投票総数 |
| 23 | 2 | 25 |
| 棄権 0 | | |

電子表決システムの画面表示イメージ

人事案件

○財産区管理会財産区管理委員

| | | |
|---------------|---------------------|--------|
| 神山財産区 管理会 | あきもととしひろ 秋元敏広 | 氏 (再任) |
| | かおうしゅういち 加納修一 | 氏 (再任) |
| | てらだまさお 寺田正男 | 氏 (再任) |
| | とつきとしのり 土岐敏教 | 氏 (再任) |
| | むらかみたけぞう 村上山竹三 | 氏 (再任) |
| | まつのきゅうざぶろう 松野久三郎 | 氏 (再任) |
| | さいとうみつお 齊藤光雄 | 氏 (再任) |
| 松野木財産区 管理会 | かたおかみのる 片岡稔 | 氏 (再任) |
| | なかがわさだしろう 中川定四郎 | 氏 (再任) |
| | さいとうひでと 齊藤英人 | 氏 (再任) |
| | たかやていたろう 高谷貞太郎 | 氏 (再任) |
| | ながおひろし 長尾紘 | 氏 (再任) |
| | くどうえいたろう 工藤榮太郎 | 氏 (再任) |
| | せいのゆうじ 清野祐治 | 氏 (新任) |
| 戸沢財産区 管理会 | こさかあきお 小坂昭雄 | 氏 (再任) |
| | さいとうよしろ 齊藤四代 | 氏 (再任) |
| | さいとうしゅういち 齊藤修一 | 氏 (再任) |
| | さいとうはれお 齊藤晴夫 | 氏 (再任) |
| | さいとうさとし 齊藤智 | 氏 (再任) |
| | まやまよしひろ 間山善博 | 氏 (新任) |
| | さいとうひろし 齊藤浩 | 氏 (再任) |
| 相内財産区 管理会 | さとうてるじ 佐藤輝治 | 氏 (再任) |
| 十三財産区 管理会 | あいさかむつお 相坂睦夫 | 氏 (再任) |

代表質問・一般質問

3月5日～6日に、2会派の代表が平成30年度の施政方針に対する代表質問を、5名の議員が市政に対する一般質問を行いました。



※代表質問・一般質問の様子は
議会インターネット中継でご覧になれます。

議会インターネット中継ページ
<http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>

議会中継ページのQRコード

代表質問



至誠公明会
稲葉 好彦

平成30年度の予算編成について

問 平成30年度の予算編成に当たり、全般的にどのような思いを込めて取り組むのか。

答 予算編成の基本方針の1つ目は、若者の定住促進戦略、交流倍増戦略、元気・健康づくり戦略を最優先で取り組み、加速する人口減少に歯どめをかけ、「活力ある・明るく住みよい豊かなまち」を目指す。

基本方針の2つ目は、地域における課題認識の共有による協働・連携事業の推進である。自治体単独では解決が困難な課題に対して、近隣の自治体間や各種団体・企業と積極的に協働、連携に取り組む。

基本方針の3つ目は、歳出改革・歳入改革を推進し、これまでの成果や内容を検証しながら、市民の福祉のため最大限取り組んだ予算編成としている。

平山市政のこれまでの取り組みと今後の展望について

問 市長は、これまで連続3期市政の舵取りを担ってきたが、今後も金木地区の発展や人口減少対策に取り組み、若者に魅力を感じてもらえるようなまちづくりを進める決意であるため、今後の決意を示していただきたい。

答 平成26年の3期目の市長選挙において、市民の皆様に対して7つの約束を掲げ、平成27年度から10年間のまちづくりの方向性を示した五所川原市総合計画にその内容を盛り込み、着実に事業展開を進めてきたところである。

同時に、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、喫緊の課題である人口減少社会に向き合い、本当の意味での豊かさは何か、市民の皆様が未来に希望を持って生活を送っていただくためにはどうすればいいのか、改めて将来の道筋をつくるた

め、必ずや誰もが明るい将来像を思い描ける「活力ある・明るく住みよい豊かなまち」の実現のため、決意を新たにしているところである。

(注) 平山誠敏市長は4月21日に記者会見し、任期満了に伴う五所川原市長選挙への立候補を取りやめることを表明しました。



市民の会
伊藤 永慈

平成30年度当初予算編成について

問 合併特例債が5年間延長することなどから、建設事業費の抑制を図り、金木庁舎周辺の面的整備や防災無線の問題について、地域住民の意見やアンケートを取りながら進めてはどうか。

答 大地震など災害発生時の人命の安全を確保するため、新金木庁舎の整備は優先事項であると捉えている。

庁舎周辺の面的整備については、構想を取りまとめるのに時間を要する状況である。

防災情報の伝達手段として、災害時における災害情報等の放送に関する協定をFMごしょがわらと締結しており、平成30年度は防災情報伝達手段多重化事業として、緊急放送の際に乾電池を入れた状況であれば、電源を落としても自動的に電源が入り、ラジオ放送される自動起動ラジオ受信機をコミュニティセンターや小中学校35施設、福祉避難所の確保に関する協定を締結した社会福祉施設61施設、保育所及び認定こども園21施設の合計117施設に整備する予定である。

金木地区のアナログ防災無線については、現庁舎で執務をしている間は、現在のような身近な行政情報や防災情報まで放送できるが、新庁舎で業務が開始される平成31年度の秋からは利用できなくなるため、平成30年度は金木地区に向けた説明会、広報等による周知を進める予定である。

※その他の質問項目/今後の財政運営について



日本共産党
花田 進

就学援助制度について

問 当市の就学援助制度実施状況は、他市に比べて充実しているとはいえない。県内で唯一支給していない「入学準備金」をいつ頃、いくら支給するのか。

答 平成30年度から準要保護児童生徒保護者に対して入学準備金を支給することとし、平成31年度新入学予定者を対象に、来年2月頃に支給決定し、新入学に間に合うように支給したいと考えている。
支給金額は、小学校が2万300円、中学校は2万3,700円を予定しているが、最初ということで国の基準額の2分の1でスタートし、今後、近隣市町の実施状況を勘案しながら充実を図っていききたい。

地域活性化について

問 市内中心部に直売所や憩いの場が欲しいという声が多くあるが、農産物直売所設置の計画について示してほしい。

答 市では現在、職員を視察や各種セミナーに参加させ、直売施設建設に向けて検討を重ねているところである。
今後は、販売農家を対象とした直売施設の利用希望や商品の出荷の有無等に関するアンケート調査を実施するほか、道の駅と連携した情報の発信及び農産物加工直売等の交流拠点施設の事例に関する情報を収集し、基本構想を作成し、事業展開を図りたい。



社会民主党
井上 浩

観光の宣伝による農商工連携事業の拡大効果について

問 立佞武多のサンパウロ出展の経費と効果について。
答 サンパウロカーニバルへの立佞武多出陣の経費は総額2,280万円で、その内訳は市長や作業従

事者の旅費等604万円、清水港までの運搬経費337万円、業務委託・組み立て費用1,339万円である。

経済波及効果については、観光客へのアンケート調査を行えておらず、効果の測定、検証を行えていないのが現状である。

立佞武多の館機能強化による周遊観光と食の拠点化事業で、観光客に生産地をさらなる旅の目的となるよう動機づけを行うことで周遊観光を推進し、観光消費増を目指していく。

新庁舎について

問 新たな行政サービス向上策は何か。

答 新庁舎では、市民の皆様が多く利用する市民課、国保年金課等、福祉や税の窓口を1階に配置し、わかりやすく利用しやすい配置とした。
新庁舎移転後には、今まで以上にハード面の安全性、利便性向上とあわせ、ソフト面においても市民サービス向上や行政効率の向上に鋭意努めていきたい。

また、新庁舎においては、建物内全面禁煙とする予定である。庁舎周辺における喫煙に関する市民アンケートでの意見を真摯に受けとめ、市民から不信や疑念を抱かれることのないよう指導を徹底していきたい。

※その他の質問項目/市長の政治姿勢について



市民の会
山口 孝夫

スポーツ振興について

問 市営球場での高校野球開催についてその対応は。

答 市営球場では、三塁側場外へのファールボールが駐車中の車両に当たり損害賠償責任を負った事故が、平成25年度に2件、平成29年度に2件発生している。高野連五所川原支部では、安全確保の点から次年度からは当地区主催の大会は市営球場を使用しないことを決定し、教育委員会に対し早期の全面改修等の要望が出されている。

教育委員会では、現球場に防球ネットを設置した場合には約4,000万円から約8,000万円の経費がかかること、市営球場の新築移転には相当な年数及び経費を要すること、金木運動公園野球場の改修には約3,000万円を要することから、高野連の事情も踏まえながら適切に検討していきたい。

問 菊ヶ丘運動公園周辺と北斗グラウンドへの洋式トイレ設置について。

答 昭和55年に開設された市営球場のトイレは、一塁側及び三塁側に1箇所ずつ、男子トイレに和式便器1基と小便器3基が、女子トイレに和式便器3基がそれぞれ設置されている。当該施設は、平成27年度から指定管理者制度により市体育協会に維持管理をお願いし、球場内のトイレ清掃等も行っている。

菊ヶ丘運動公園の公衆トイレは33年、歴史民俗資料館近くのトイレは28年、北斗グラウンドのトイレは20年が設置からそれぞれ経過しており、今後は高齢者、障害者や親子連れにも配慮した施設の改修や更新が必要であると考えているので、適正な配置、整備計画を検討していく。



市民の会
加藤 馨

金木総合支所の建築整備について

問 金木総合支所建設の予算と入所予定先の内容について。

答 金木総合支所の建築整備は、現在は基本設計が完了し、実施設計を行っている状況である。新金木庁舎の延べ床面積は約1,500平方メートル、工事費は概算で6億4,000万円を見込んでいる。財源としては合併特例債を充当するという事で平成30年度当初予算に計上している。

新金木庁舎には、現在の金木総合支所の庶務係、総合窓口係、産業建設係、農業委員会金木支所のほか、図書館、金木商工会の入所を予定している。



新金木庁舎イメージ図

旧西沢家住宅の改修について

問 旧西沢家の改修についてどのような内容で検討されているのか。

答 旧西沢家住宅は金木中心部である金木総合支所を中心とする面的整備事業の一環として、その活用方針や改修方針等をこれからも検討を重ねていき、今後はその方針に沿って対応していくこととなる。

平成30年度は現状を維持しながら、庭木剪定等の環境整備を実施する。



至誠公明会
平山 秀直

就学援助について

問 新入学児童生徒学用品費の入学前支給を可能にするための対応について。

答 新入学児童生徒学用品費いわゆる入学準備金は、経済的理由により義務教育を受けさせることが困難と認められる児童生徒の保護者に対し、入学時に必要とされる学用品等の購入費用として支給し、保護者の負担軽減を図るもの。平成30年度の予算で準要保護世帯の平成31年度小中学校新入学予定者を対象とし、今年度中に支給する。今後も就学支援の効果的な実施について検討し、引き続き他市の実施状況を勘案しながら事業の充実を図っていきたい。

独居高齢者への支援策について

問 独居高齢者の現状と当市における対策及び相談体制の一本化について。

答 平成27年国勢調査における市の高齢者単独世帯数は2,912世帯で、5年前の調査時よりも456世帯増加しており、今後も増加が見込まれる。

市では生活協同組合や郵便局との高齢者見守り協定の締結、緊急時にはシルバーSOSネットワークシステムによる情報共有など各機関等の協力を得ながら高齢者の見守り体制を構築している。

現在、地域包括支援センターが高齢者相談窓口の役割を担っており、社会福祉協議会、介護事業者、医療機関等によるネットワークを構築し、高齢者が適切なサービスを利用できるよう支援を行っている。新庁舎移転後は、地域包括支援センターも新庁舎内に配置されることから、相談体制の一本化については一歩前進と考えている。

※その他の質問項目/除排雪対策について
所有者不明の土地利用について

予算特別委員会

3月7日に、全議員で構成される予算特別委員会が設置され、委員長に**松野武司委員**、副委員長に鳴海初男委員を選任し、3月8日、9日の2日間、平成30年度一般会計予算など24件について審査を行いました。

委員会で寄せられた質疑を掲載いたします。

○平成29年度一般会計補正予算（第7号）

【歳出】

- ・公共施設等整備基金及び地域振興基金の残高見込みについて
- ・奥津軽いまべつ駅二次交通運行費補助金の内容について

○平成29年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）

【歳入】

- ・財政調整基金の残高見込みについて

○平成29年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

【歳出】

- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金事業の内容について
- ・地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金事業の実施状況について

○平成30年度一般会計予算

【歳入】

- ・市税の増加要因について
- ・市税の増加と地方交付税基準財政収入額との関係について
- ・固定資産税の減少要因及び家屋の評価額について
- ・都市計画税の徴収目的について
- ・ジャポニスム2018「地方の魅力発信」共催分担金の経緯及び積算根拠について
- ・駐車場使用料の内訳について
- ・財政調整基金、公共施設等整備基金及び地域振興基金の残高見込み及び用途について
- ・原子力施設立地振興対策事業助成金を計上した理由について

【歳出】

- ・内助功労章のあり方について
- ・金木総合支所整備事業の進捗状況について
- ・新エネルギー設備導入促進事業の実施状況及び積算根拠について
- ・ごしょがわら縁結びサポート事業の成果について
- ・地域おこし協力隊の採用経緯について
- ・地域おこし協力隊の活動内容について
- ・地域おこし協力隊の処遇について
- ・地域おこし協力隊への支援策について
- ・地域における共助の基盤づくり事業の内容について

- ・高齢者除雪等支援事業の内容について
- ・除雪時の死亡事故に対する考えについて
- ・衛生費の増加要因について
- ・乳幼児医療給付事業に要する一般財源額について
- ・乳幼児医療給付事業の対象者拡充に伴う積算根拠について
- ・一般廃棄物最終処分場建設事業の進捗状況及び今後の予定について
- ・一般廃棄物最終処分場建設事業の総事業費及び施設の規模について
- ・現一般廃棄物最終処分場の埋め立て残容量について
- ・農業次世代人材投資事業の内容について
- ・多面的機能支払交付金事業の内容について
- ・唐笠柳地区への新たなショッピングセンター出店に伴う農業振興地域除外手続きの内容について
- ・あわび放流事業費補助金の内容について
- ・なまこ及びサーモンの振興について
- ・五所川原立佞武多海外情報発信事業の経緯及び効果について
- ・五所川原立佞武多海外情報発信事業実施後の課題について
- ・太宰治生誕110年誘客促進事業の内容について
- ・防雪柵整備事業の内容について
- ・LED灯導入事業の内容について
- ・奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バスの利用状況について
- ・奥津軽いまべつ駅・津軽中里駅間バスの乗車率向上対策について
- ・防災情報伝達手段多重化事業の内容について
- ・歴史民俗資料館管理費の内容について
- ・歴史民俗資料館の営業再開の見通しについて
- ・市民プール及びB&G海洋センター金木の利用者数について
- ・これまでの市民プール管理費の実績について
- ・公債費のその他財源の内訳について

【給与費明細書】

- ・その他の特別職が増加した理由について
 - ・一般職が減少した部局について
- ### ○平成30年度国民健康保険事業勘定特別会計予算
- #### 【予算全般】
- ・共同事業の廃止に伴う影響について
- #### 【歳入】
- ・国保制度改革に伴う国民健康保険税への影響について
- ### ○平成30年度介護保険特別会計予算
- #### 【歳入】
- ・介護保険料増加額と保険給付費増加額が不均衡である理由について
 - ・財政調整基金の残高見込みについて

討 論

第1回定例会最終日に、経済文教常任委員長、民生常任委員長及び予算特別委員長の報告に対して、討論がありましたので、その内容を掲載いたします。

○平成30年度一般会計予算

反対 社会民主党 井上 浩

平成30年度一般会計予算は6月に市長選挙を控えているものの、骨格予算となっておらず、しかも、ここ数年の予算編成は基金取り崩しに頼っているのが現状である。

合併以降の過剰な箱物行政の結果、市長の政策的判断を反映する余地がなくなってきており、乳幼児医療費給付制度は、平成30年度から所得制限を撤廃する方針しか示せず、市民の請願主旨に対してほぼゼロ回答であり、本事業を単独で取り組めないのは、県内で当市のみとなった。

立佞武多の海外での宣伝による農商工連携事業の拡大効果については、一般質問及び予算特別委員会での議論で納得できる答弁はなかった。

基金取り崩しに頼った予算編成が長く続かないことは誰の目にも明らかで、行政も議会も一体となり予算規模を適正に縮小していくべきである。

私たちは過去、現在、未来に渡っての市民のために仕事をしているということをかみしめて成果を挙げていただきたい。

反対 日本共産党 花田 進

市債と公債費を比較したプライマリーバランスは改善しているものの、平成30年度末の地方債残高は市民1人あたり100万円にもなる。

市税等の自主財源が増加せず財政調整基金も少ない中で、プライマリーバランスを充分考慮した借金を増やさない予算編成が必要である。

市長は施政方針で「安心して子供を産み育てられる社会環境の形成が重要」と述べているが、乳幼児医療費では県内唯一就学前までの無料化にとどめ、就学援助制度では入学準備金がようやく来年度入学者から支給されるものの、金額は国が定める基準の半額となっている。

さらに、周辺自治体でまだ実施していない学校給食費の軽減措置など思い切った政策が必要である。

また、日本に原発や核燃料サイクル施設は設置するべきではない視点から、原子力施設立地振興対策事業助成金は受けるべきではないことから反対する。

○介護保険条例の一部改正 ○平成30年度介護保険特別会計予算

反対 日本共産党 花田 進

介護保険制度は、平成12年から「家族介護から社会で支える介護へ」というスローガンを掲げて導入されたが、実際には要介護度に応じてサービスの内容や支給額が制限され、スタート当初から「保険あって介護なし」と言われてきた。

平成26年に可決された医療・介護総合法により、平成27年8月から所得160万円以上の人の利用料が1割から2割へと引き上げられ、さらに、地域包括ケア強化法により、平成30年8月から年金収入340万円以上の人の利用料が3割負担に引き上げられる。

利用料の負担も増加する中、第1号被保険者の保険料基準月額を6.4%、400円引き上げることは、多くの市民にとって納得できるものではない。

当市は認知症予防に向けた認知症フォーラム等に力を注ぐなどしており、このような介護予防への取り組みの強化をお願いする。

○体育施設設置条例の一部改正

反対 日本共産党 花田 進

市民プールは、開設後30年が経過し、老朽化に伴い大規模改修が必要であるが、必要経費が捻出できないために廃止するということでは、市民への思いは微塵も感じられない。

利用者が延べ3千人余りで五所川原小学校やB&G海洋センター金木の利用により、市民プールを廃止しても大きな問題は無いように述べ、今後、市民プールの再建はないようであるが、市民プールを廃止するのではなく、水泳協会や利用者の声を聞き、時間をかけて論議すべきと考える。

○子どもの医療費助成の拡充に関する請願

採択 日本共産党 花田 進

9月定例会での継続審査に対し、もっと市民の声を集めようと短期間で1,500人の署名を追加提出し、子どもの医療費助成の充実実現の思いを議会に届けている。

請願時には、県内で就学前までの医療費助成は当市を含め3自治体であったが、2自治体は平成30年度から医療費助成の拡充を図り、当市だけとなった。

周辺自治体が対象年齢を拡大していく中で、子どもの医療費助成の充実は、若者夫婦の定住化を進めるために極めて重要な政策である。

また、所得格差を健康格差につなげてはならないと考える。

議会改革について

第1回定例会最終日に、議会改革特別委員長より、これまでの経過について中間報告がありました。その内容を掲載いたします。

平成29年度は7回にわたり議会基本条例の制定に向けた検討を行いました。

まず、県内外の議会基本条例を参考に当市議会の条例案に取り組むべき項目、今後の委員会の進め方について検討し、その後、条文及び前文の原案を作成しました。

議会基本条例は、市議会として大変重要な条例となるため、今後、全員協議会で素案の協議等を経て、パブリックコメントを実施し、市民からの意見に対する協議を行う予定としています。

行政視察来庁

・まちなかパーク整備事業とまちなか五所川原の活動について

5月10日 神奈川県高座郡寒川町議会 6名



平成30年第1回定例会 議決結果表

【賛否の分かれた案件】

| 議案番号 | 件名 | 議席番号及び議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 賛成 | 反対 | 議決結果 |
|--------|--------------------------------|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | | |
| 議案第7号 | 平成30年度五所川原市一般会計予算 | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 | 6 | 原案可決 |
| 議案第12号 | 平成30年度五所川原市介護保険特別会計予算 | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 21 | 4 | 原案可決 |
| 議案第29号 | 五所川原市体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 | 6 | 原案可決 |
| 議案第36号 | 五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 22 | 3 | 原案可決 |
| 議案第4号 | 子どもの医療費助成の拡充に関する請願 | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | 5 | 20 | 不採択 | |

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対。

【全会一致の案件】

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|--------|---|------|
| 議案第1号 | 専決処分の承認を求めることについて(平成29年度五所川原市一般会計補正予算(第6号)) | 承認 |
| 議案第2号 | 平成29年度五所川原市一般会計補正予算(第7号) | 原案可決 |
| 議案第3号 | 平成29年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第4号 | 平成29年度五所川原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第5号 | 平成29年度五所川原市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第6号 | 平成29年度五所川原市下水道事業会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第8号 | 平成30年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第9号 | 平成30年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 平成30年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計予算 | 原案可決 |

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|--------|--|------|
| 議案第11号 | 平成30年度五所川原市後期高齢者医療特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第13号 | 平成30年度五所川原市高等看護学院特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第14号 | 平成30年度五所川原市神山財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第15号 | 平成30年度五所川原市松野木財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第16号 | 平成30年度五所川原市戸沢財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第17号 | 平成30年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第18号 | 平成30年度五所川原市喜良市財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第19号 | 平成30年度五所川原市相内財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第20号 | 平成30年度五所川原市脇元財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第21号 | 平成30年度五所川原市十三財産区特別会計予算 | 原案可決 |
| 議案第22号 | 平成30年度五所川原市水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第23号 | 平成30年度五所川原市工業用水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第24号 | 平成30年度五所川原市下水道事業会計予算 | 原案可決 |
| 議案第25号 | 五所川原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第26号 | 五所川原市特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第27号 | 五所川原市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第28号 | 五所川原市営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第30号 | 五所川原市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第31号 | 五所川原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第32号 | 五所川原市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第33号 | 五所川原市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第34号 | 五所川原市公害防止条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第35号 | 五所川原市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第37号 | 五所川原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第38号 | 五所川原市都市公園設置条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| 議案第39号 | 財産の処分について（土地） | 原案可決 |
| 議案第40号 | 市道路線の認定について（唐笠柳12号線） | 原案可決 |
| 議案第41号 | 市道路線の認定について（唐笠柳13号線） | 原案可決 |
| 議案第42号 | 西北五環境整備事務組合規約の変更について | 原案可決 |
| 議案第43号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（秋元 敏広氏） | 同意 |
| 議案第44号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（加納 修一氏） | 同意 |
| 議案第45号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（寺田 正男氏） | 同意 |
| 議案第46号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（土岐 敏教氏） | 同意 |
| 議案第47号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（村上 竹三氏） | 同意 |
| 議案第48号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（松野 久三郎氏） | 同意 |
| 議案第49号 | 神山財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 光雄氏） | 同意 |
| 議案第50号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（片岡 稔氏） | 同意 |
| 議案第51号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（中川 定四郎氏） | 同意 |
| 議案第52号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 英人氏） | 同意 |
| 議案第53号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（高谷 貞太郎氏） | 同意 |
| 議案第54号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（長尾 紘氏） | 同意 |
| 議案第55号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（工藤 榮太郎氏） | 同意 |
| 議案第56号 | 松野木財産区管理会財産区管理委員の選任について（清野 祐治氏） | 同意 |
| 議案第57号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（小坂 昭雄氏） | 同意 |
| 議案第58号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 四代氏） | 同意 |
| 議案第59号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 修一氏） | 同意 |
| 議案第60号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 晴夫氏） | 同意 |
| 議案第61号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 智氏） | 同意 |
| 議案第62号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（間山 善博氏） | 同意 |
| 議案第63号 | 戸沢財産区管理会財産区管理委員の選任について（齊藤 浩氏） | 同意 |
| 議案第64号 | 相内財産区管理会財産区管理委員の選任について（佐藤 輝治氏） | 同意 |
| 議案第65号 | 十三財産区管理会財産区管理委員の選任について（相坂 睦夫氏） | 同意 |
| 発議第1号 | 五所川原市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について | 原案可決 |

委員会行政視察報告

建設常任委員会

1月24日から26日までの日程で、愛媛県西条市にて「立地適正化計画」、同県今治市にて「サイクルツーリズム」について行政視察を行いました。

西条市でも人口の低密度化による都市機能の存続が懸念され、都市拠点、地域拠点、商業集積地での利便性が低下すると、郊外部の利便性も低下し、「生活しにくいまち」となることから、都市機能の利便性を高める拠点を設定し、重点的に整備・開発、維持していくことで持続可能な街づくりを進めることとしました。同市は平成21年からコンパクトシティを目標に掲げており、将来像の基本的な考え方は、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」としています。計画策定に当たり、27年度に基礎調査、誘導区域の検討、市民アンケートの実施、計画素案の作成、28年度に議会報告、パブリックコメント、都市計画審議会、立地適正化計画策定、都市機能誘導区域外への開発行為・建築等行為に対する届出・勧告制度の新設、また、都市計画マスタープラン等上位計画や関連計画との整合性をもたせ計画を策定し、29年度に計画を公表しました。各関係課によるプロジェクトチームで取り組んできたのではと考えていましたが、西条市では計画整備課が主導し、各課持ち回りで進めたとのことでした。

今治市と尾道市を結ぶしまなみ海道は、8つの島と9つの橋でつながる約60kmのルートで、7つの橋に自転車・歩行者専用道が併設され、「サイクリストの聖地」として自転車で海の上を走れるサイクリストの憧れのルートです。現中村知事が県内首長にサイクリング熱を盛り上げようと呼びかけ、首長も賛同し、平成27年度のサイクリスト訪問者が約32万6千人と年々急増していました。サイクリングルート70kmにはブルーラインが引かれ、ロードの整備は地銀、企業等からの支援で維持されていました。サイクリストの誘導や滞留はまだ十分とはいえ、外国人対応の人材の育成、案内板・サイクルスタンドの設置、二次交通との連携、コンビニのサイクルオアシスとしての認定やサイクルガイド資格取得者の増などさらなる充実を目指しているとのこと、取り組みが全てに前向きで当市としても見習うべきものが多くあると感じました。

(建設常任委員会委員長 福士 寛美)



議会だより編集特別委員会

2月5日から7日までの日程で、福島県会津若松市議会及び宮城県宮城郡七ヶ浜町議会にて「議会だよりの編集」について行政視察を行いました。

会津若松市議会では、昭和49年5月から議会だよりを発行し、年4回、1回あたり52,000部を定例会の翌々月の1日に発行していました。

同市議会では、講師を招いて講習を受けるなど読みやすいレイアウトづくりに積極的に取り組んでいるほか、平成30年度からは一般公募による5名を含む60名を「広報議会モニター」に任命し、年2回のアンケートに回答してもらい、その結果をもとに紙面内容等を見直すことで、より多くの市民に読んでもらえる紙面づくりを目指しているとのこと、市民からの声を取り入れる体制づくりに積極的に取り組んでいることが伺えました。

七ヶ浜町議会では、昭和59年7月から議会だよりを発行し、年4回、1回あたり6,750部を定例会の翌月15日に発行していました。

「しちがはま議会だより」は、平成23年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞するなど数々の表彰を受けており、見出しの作り方や余白の使い方に工夫が見られ、ページを開いた瞬間にどのような内容が掲載されているのかが一目で読者に伝わるような印象を受けました。また、定例会の内容をいち早く伝えることに力を入れており、翌月の発行にあわせて、開会前も含め4回の編集特別委員会を開催し、スピード発行に努めていました。

当市議会においても、議会だよりを通して効率的に議会活動を伝えるために、市民の方により伝わりやすい紙面作りに取り組んでいきたいと思っております。

(議会だより編集特別委員会委員長 山口 孝夫)



次回定例会の予定

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 5月31日(木) | 本会議(開会) |
| 6月4日(月) ～5日(火) | 本会議(一般質問) |
| 6月6日(水) | 本会議(総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託) |
| | 予算特別委員会(組織会) |
| | 常任委員会(議案審査) |
| 6月7日(木) ～8日(金) | 予算特別委員会(議案審査) |
| 6月14日(木) | 本会議(閉会) |

● お問い合わせ先……議会事務局

※開会は10時を予定しています。
※日程が変更になる場合があります。
次回定例会日程が正式に決定されるのは5月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

新しい議場で市議会を傍聴しませんか

新庁舎3階の新議場の傍聴席は、より身近に議会を感じることでできる配置となりました。

どなたでも気軽に市議会を傍聴することができます。

受付で、住所、氏名をご記入し、傍聴券の交付を受けてから入場してください。

定員は43名(車いす用4席を含む。)です。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は事前にご連絡ください。

なお、議会インターネット中継も実施していますので、市議会ホームページにアクセスしてご覧ください。



編集後記

3月定例会をもちまして、旧庁舎での最後の議会となりました。6月定例会からは新庁舎での議会となります。様々な歴史を刻んだ旧庁舎ではありましたが、新庁舎では心機一転、より一層市民のための行政が行われるよう頑張っていきたいものです。

4月29日から金木桜まつりの開会式を皮切りに、この地域でも春本番の香りでいっぱいになりますが、農家の皆さんにおかれましては、農作業の大変忙しい時期となります。健康には十分留意され頑張ってください。

我々議員も新庁舎に負けないよう、市政発展と市民サービスの向上のため努力していく所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます

(平山 秀直)

議会だより編集特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 山口 孝夫 |
| 副委員長 | 木村 慶憲 |
| 委員 | 木村 清一 |
| 委員 | 平山 秀直 |
| 委員 | 稲葉 好彦 |
| 委員 | 吉岡 良浩 |
| 委員 | 山田 和宗 |
| 委員 | 松本 和春 |

■発行／五所川原市議会 ■編集／議会だより編集特別委員会

〒037-8686 五所川原市宇布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック
メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp



※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見は議会だよりに役立たせていただきます。

議会ホームページのQRコード